

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第107号

2012年 8月

# やどりき水源林ニュース

発行 (公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会  
 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内  
 ☎045-412-2255 http://www.ktm.or.jp E-mail:midori@ktm.or.jp

## 定例観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

# 夏は水源林で遊ぼう!

## ~楽しい発見がたくさんあるよ~

神奈川県の水道用水の源流は「酒匂川水系」と「相模川水系」の二つの系統があり、やどりき水源林はこの「酒匂川水系」にあたります。

この水源林を流れる「寄沢」の水は、中津川→川音川→酒匂川と流れ、河口近くの飯泉取水堰から、横浜市、川崎市にも送水されています。なんと送水量は横浜市水道量の約30%、川崎市は約50%にもなるそうです。

われわれの飲み水を生み出す緑豊かな水源林へ、ぜひ遊びに出かけてみませんか! 緑と川のせせらぎでいフレッシュ!!。水源林のすばらしさに感動がいっぱいです。



広場の前は、子供たちの水遊びに最適です。  
 対岸には高さ17mの滝壺の滝があり、涼しさを求めるなら最高のスポットです。



丹沢山系は本州とフィリピン海プレートが衝突、隆起してできたと言う証拠の枕状溶岩も見られるよ!



鹿柵の内側、外側でこんなにも草の茂り方に差があるんですね。

これは増え過ぎた鹿が、草や幼樹などを食べ尽くすためです。草木が生い茂る豊かな森が育たない状況は、この水源林を含む丹沢一帯で深刻な問題となっています。

鹿柵の外側は鹿が食べない「マツカゼソウ」「オオバノイノモトソウ」「イワヒメワラビ」「ミツマタ」などが群生となっています。丹沢山頂付近の「オオバイケイソウ」もそうで、群生と言えれば聞こえはいいのですが、ちょっと皮肉なものですね。



葉の中央に実がなっています。葉と花の軸がひっついた珍しい樹木です。名前はハナイカダ、可愛いですね。



コマの様なおもしろい形をした実。これはウツギの実で、中央に飛び出している軸は、雌しべのなごりです。



Bコースのベンチの下や木の陰の砂地に、すり鉢の形をしたものを見つけました。穴に落ちた獲物をとるアリジゴクの住みかです。(アリジゴクはウスバカゲロウの幼虫です)



トルコのカップドキアの奇岩群に似てませんか？小さな石ころが雨による土壌浸食を防いでくれます。落ち葉なども同じ役目をしています。



Bコースに奇妙な形をした老木を見つけました。何に見えますか？怪物？、野獣の顔のようにも…



ミツバウツギの実です。何かこっけいな形をしてませんか？ ちょっとおしりが大きい人のパンツに見えてしまいます。

### 8月のトピックス

ヤマユリ、ネムノキ、後半ではクサギ、タマアジサイが見頃です。森の案内では、クラフト作成・水生生物の観察も行っています。



### 9月の水源林

キク科、シソ科をはじめ、ゲンノショウコなど秋を彩る草花が見られます。草木の実も色付き始めます。季節の移り変わりを感じてみませんか。

